

news 88

第18号
2002年5月

株式会社プリマ楽器
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221(業務部) TEL 03-3866-2224(営業部)
FAX 03-3866-2222 http://www.prima-gakki.co.jp/
札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

♪「ピアノ断ち」のススメ♪

「どうして私のところには、やる気に満ちた生徒が入門してこないのかしら?」などと思ったりすること、ありませんか? そう思っている貴方は、たまたま、ついていないだけかもしれません。しかし、もしかしたら、別の理由が潜んでいるかもしれません。

先日、小さなお子さんを育てながらピアノ指導をし、ピティナ(社団法人全日本ピアノ指導者協会)で指導者賞を受賞するほどにアクティブな30代の先生とお会いしました。生まれつき元気で、ピアノも弾ける優秀な方なのかと思っていたら、話しているうちに、それだけではないということが分かつきました。音大に進んだものの、プレッシャーで体調まで壊してしまった彼女は、卒業と同時に一流企業に就職し、社長秘書になりました。人も羨む花形のポジションでしたが、やっぱり自分は音楽に関わる仕事がしたい、という気持ちが日に日に募り、せっかく父親の紹介で就職できたのに、結局1年で会社を辞め、ピアノ指導に専念することになったそうです。それ以来、ピアノが好きだということを再確認し、ピアノ指導者という職業に強い誇りを持ち、日々「感動」しながら指導にあたっております。

まず、先生がこのような気持ちで音楽に臨んでいれば、先生に影響を受けて生徒さんのやる気も満ちてくるに違いありません。もし、ご自分の生徒さんにやる気がないと感じられるようなら、まずは自分自身がピアノに感動しているか、自問自答してみるとよいでしょう。答えが出なければ、一度ピアノを断ってみては如何でしょうか。自宅のピアノを下取りに出し、ピアノのない生活を送つてみると素直な自分の気持ちがわかるものです。もし、1年もしないうちにピアノに対する飢餓感が頂点に達したらピアノを買い直し、生徒さんを再募集したらよいのです。一見、多大な投資なようですが、その後の人生はバラ色でしょう。もし、ピアノのない生活が当たり前のように感じるなら、あえてピアノ指導を職業にする必要はない訳です。

(社団法人全日本ピアノ指導者協会 専務理事、
株式会社東音企画 代表取締役社長)



ふくだせいこう
福田成康

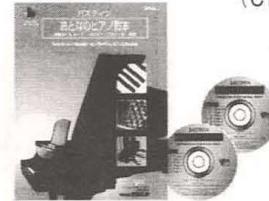
今月のNEWSな 楽譜&グッズ

★東音企画

●バスピアノ教本 2巻 5月中旬発売。

(CD付き)4,500円+税

(CDなし)2,800円+税



ピアノを始めたいけれど子供向けのテキストでは....。そのような方に特にお勧めです。楽典やテクニックなどを理解しながら楽しく学習することが出来ます。楽譜+CDの効果をお試しください。
1巻は現在発売中。

★サーべル社

●おんぷのおえかき ワーク・ブック2 (えかきうたつき)

遠藤薫子・著 56頁 定価1100円+税

小さな子供(2歳、3歳)が負担無く音符を覚えさらに音符を書く訓練を目的としたワークブック。2巻ではドからソまでの音符を習う。生徒の成長、能力に合わせて無理なくレッスンが出来る。

★全音楽譜出版社

●マーサ・ミラー ひとりでピアノ、いっしょにピアノ

(はじめて学ぶピアニストのためのやさしい曲集)

安田裕子 訳・解説 72頁 定価1400円+税

マーサ・ミラーはギロックの高弟で現在アメリカのピアノ教育界で活躍中です。23のやさしい小品が収められており、前半ソロ10曲、後半はプリモ、セコンドが同じレヴェルで弾ける連弾が13曲収められています。

★音楽之友社

●ピアノ名曲120選 上級編

音楽之友社編 152頁 定価 1100円+税 5/下

古今の名曲をベースに選曲。読み易く聞き易い楽譜。曲目解説、楽語一覧も充実。いよいよ上級編の登場です。

●やかりやすい楽典 川辺真著

A4判 216頁 定価1700円+税

音符と鍵盤でおぼえる現代のニーズに合った新しい楽典。鍵盤図をふんだんに掲載。ボビュラーに必須の『コードネーム』を詳しく解説。また、楽譜の書き方の注意点をていねいに説明、覚えておきたいポイントや豆知識をコラムで紹介。



★ドレミ楽譜出版社

●ともだち ちょうおん【初級編】【中級編】

石丸由里 編著 各48頁 定価 各600円+税 5/下

遊び感覚で聴き声が身に付きます。最初から1度にたくさんのおいしい音を聞き取るのは無く、テーマにしたがって問題の楽譜の抜けている音を埋めて行きます。

●定番 実用音楽事典 編集部編 416頁 定価2200円+税 5/上

一般的な音楽用語や理論、各種楽器、録音に関する必須項目の他にDTM、PC用語などデジタル関連用語も充実。

●インベンションの前に やさしいバッハ小曲集

池田恭子 編 80頁 定価900円+税 5/上

ピアノ初心者もバッハの作品を無理なく自然に習得できるように、易しく分かりやすい曲から親しみ徐々に複雑な内容へと進んで行きます。

●CD付き ハ調でやさしいピアノソロ

魅惑のクラシック名曲60選

水野 薫編 104頁 定価★1800円+税 5/中

多くの人々に親しまれ、きっと1度は聴いた事のあるクラシック名曲ばかり50曲をハ調でやさしくアレンジ。模範演奏CD付き。

…当選者…

news88ご愛読者プレゼントクイズにたくさんの御応募を頂き、有難うございました。抽選の結果、下記の方々が当選なさいました。

答 3番 (オカリーナ)

おめでとうございます

◎オカリーナ(プリマ楽器発売)1名

(神奈川県横浜市)

◎おとのピアノ教本1(CDなし)2名

(北海道伊達市)

(宮崎県都城市)

◎記念品(お楽しみ)10名

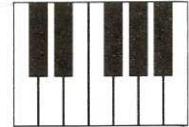
(小原山町吉野、西田町子、西田町子、高木町子、高木町子、西田町子、西田町子、村松町、高木町子、西田町子)

(敬称略)

ご当選の方には、後日賞品を発送させて頂きます。



ピアノ指導の 現場から



◆◆日常生活の中に ピアノレッスンのアイディアを◆◆

ピアノのレッスンといえば、指導者・生徒とともに、どこか余計な力が入って、時には堅苦しさをともない、「ピアノのための」けいことなるケースが多いのではないか。何らかのコンクールに参加ともなれば、弾き手とピアノが四つに組んだように見える時もある。

楽天的な私は、生徒の可能性に期待し、楽しみながらレッスンし、生徒たちとともに歩むように心掛けたつもりである。そしてある時、ヨーロッパ住まいの先生から、生活の中にさりげなく存在するレッスンのヒントを得たのである。

「同じ曲でも個性を大切にし、人によって言うことが違うので、グループ全員の演奏を聞きよく把握すること」という言葉に続いて、「ピアノはフォークとナイフの国文化の楽器です」。とりわけ食べることの好きな私は、フォークとナイフを扱う生活の中でピアノを弾くことの接点を追い求め始めたのである。

食卓の椅子の形、高さ、座り方、テーブルの高さ、セッティングされた皿の料理をさばく距離は、ピアノを弾く時の体と鍵盤の距離と大差ない。背筋を伸ばしてかかとを床に付け、体を安定させる姿勢で両手をしなやかに扱う動作は、ピアノを弾く体勢につながるのだと納得し、「生活の歴史」の深さを知られた気がした。

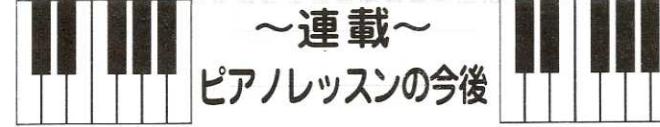
足台の高さの重要性や鍵盤と体の間隔について、生徒たちはすぐ理解し、数センチの高さの足台が必要とあれば、手作りして楽譜と一緒にレッスンに持参する姿がほほえましい。実際、ナイフとフォークを軽く握らせてみると、両手で握りしめて真剣な表情になる。「大好きなホットケーキでもこうするのかなあ?」と声を掛けると生徒の気の張りがすうーっと抜けることもあり、そんな瞬間に、レッスンすることのささやかな充実感・幸福感を味わったりしている。

これからはキーを軽くタッチする感覚と、鈍くタッチすれば押した文字が画面にいくつも並んでしまって慌てさせるパソコンを、ピアノの打鍵との共通性につなげて探求するほうが理解しやすいのかもしれないと思って、食卓にパソコンを置き始めたところである。

(ピアノ指導者/名古屋在住)



おおば ゆりこ
大林裕子



~連載~ ピアノレッスンの今後

Music Key Lesson レポート

岩瀬洋子・田村智子

ミュージックキーではこの春、クラスコンサートを行いました。それぞれ10名ちょっとの人数で、時間も1時間以内で終了するようにプログラムを組みました。会場はフラットで舞台と客席が一体感を持てるよう配慮しました。生徒たちの取り組み方はそれぞれ年齢によっても違いますが、当日を迎えるにあたりどの生徒もはじめて取り組むことができたのではないかと思います。発表会をというとつい指導者が夢中になってしまいがちです。私たちも生徒の気持ちより、曲としての完成度にこだわっていた時期もあったのですが、・・・と今思うのです。発表会を経験することで生徒が精神的にも技術的にも成長できること、そしてピアノが弾けるという自分を改めて幸せに思ってほしいのです。と同時にご家族の方々にもそれを感じていただきたいと思います。つまりご家族の理解と協力なくしてレッスンを続けていくことはできません。ですからコンサートにはできるだけご家族みなさまにお子様が真剣にピアノを弾かれている姿を見て頂くよう事前にお願いします。日ごろお忙しいご両親。子供さんの家での練習もなかなか聞かれることが少ないようで、「うまいもんですね~」とまんざらでもないご様子でした。ある低学年のクラスでは、親御さんに子供の演奏する前に、簡単なメッセージを送ってあげてほしいとお願いしました。日ごろなかなか子供を前にはめることができないようで、この日は愛情たっぷりのステキな言葉を子供のために考えてください、聞いていてもとても感動的でした。思いがけないお母様、お父様からのやさしい応援に照れながらもうれしくって、演奏も普段以上のできばえでした。いくつになっても子供って両親に褒められるのが一番なんですね。生徒のやる気の原動力はやっぱり家庭かな・・・とつくづく感じた心温まるコンサートでした。

☆☆☆講座のご案内☆☆☆

●魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」

講師：岩瀬洋子

今「ピアノのおけいこ」のあり方（練習しない親子で根気がないなど）に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師（指導）、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】[日時] 5/17, 6/7, 7/5, 9/6, 10/4, 11/8, 12/6 (全て金曜日)
9:45~12:00 [会場] 東京芸術劇場第5会議室(池袋駅西口徒歩3分)

●「アルフレッドレベル別講座」講師：田村智子

【日時】9:45~12:00 5/17(導入コースF) 6/14(基礎コース2) 7/19(基礎コース3) 9/13(基礎コース4) 10/18(基礎コース5) 11/15(基礎

コース6) 12/13(応用編)

【会場】池袋芸術劇場第7会議室 9時45分~12時

●生徒の環境を踏まえ実際に即した「ピアノ指導法」

《生徒に振り回されない工夫導入編》

3回シリーズ5/28(火) 6/25(火) 7/16(火)

【会場】沼津すみや 時間10:30~12:30

【問合せ・申込み】ミュージックキー

Tel / Fax 0559-89-3900 (担当:植松)



ここだけの NEWSなCD



ショパンの旅路IV

高橋多佳子(pf)

Tri-M Classics DICC-28011 ¥2,940

諫山 隆美

(いさやまたかよし 音楽評論家)

5年に1度、ポーランドで開催されるショパン国際ピアノコンクールは、とりわけ難しいコンクールのひとつとして、世界に広く知られています。このコンクールでユニークなのは、課題曲がすべてショパンの作品。これは1927年の第1回から全く変更されていない、大きな特徴です。こうした特徴はコンクールの性質を明確にしますが、一方で「ショパン弾き」というイメージや偏ったレパートリーから脱却するのが、入賞後の大きな課題であると言われてきました。

1990年のショパン・コンクールで入賞した高橋多佳子は、あえてショパンで勝負しています。なんとなくショパンをたくさん弾いてショパン弾きですといった方法ではなく、ショパンの生涯を追って、作曲された順に同時期の作品を選曲して、ショパンの全体を見ようとする方法です。これにはショパンの全曲をもれなく弾くという方針はありませんが、しかしショパンの重要な作品はすべて網羅され、ショパンの作風の変化に追っています。もはやショパンをたくさん弾けますといった次元を越え、ショパンの多彩なスタイルを熟知してそれぞれの魅力を聴かせているのですが、しかし安心して聴ける典型的なショパンのスタイルを崩すことではありません。そればかりか、よくその演奏に耳を傾けてみると、メロディーをしつとと歌い上げ、歌う魅力を前面に押し出したショパンに仕立てられています。

ショパンコンクールから約10年が経つようやく煮詰められたショパンの重要な作品の数々は、「ショパンも上手な」ピアニストとは一線を画し、彼女らしい領域を見事に形成しています。こうした録音活動は、コンサートでも平行しながら暖められては披露してというベースで展開しています。

さて、ショパンコンクールの入賞者がこのように活躍している一方で、それに比較される唯一の大コンクール、チャイコフスキーコンクールが今年6月、モスクワで開催されます。2000年のショパン・コンクールでその全演奏評をホームページでご紹介し、大変な反響をいただきましたので、今年のチャイコフスキーコンクールのピアノ部門も、全演奏をホームページでご紹介ていきます。世界から集まった約100名のピアニストが競うこのコンクールから、次の世代の巨匠誕生が楽しめるのかも知れません。あなたのパソコンが6時間遅れのモスクワ時間となり、寒い国での暑い戦いを、ぜひご覧ください。

<http://www.piano.or.jp/review/isa/>

プロフィール

現在「ムジカノーヴァ」誌巻頭カラー演奏会評、連載「ピアニストを聴く」、「ショパン」誌演奏会評、「音楽現代」誌新譜批評をレギュラーで執筆する他、コンサートのプログラムノートやCD曲目解説などを手がける。その他音楽鑑賞の講座講師を各地で務め、評論のみならず鑑賞・啓蒙の分野でも活動を続けている。2000年10月はワルシャワで開かれたショパン国際ピアノコンクールの全演奏をホームページ上で即日レポートを公開。前代未聞のこの試みは国内外のマスコミから愛好者に至るまで大きな注目を浴び、膨大な数のアクセスを得る。今年2002年はモスクワのチャイコフスキーコンクールのピアノ部門の全演奏をwebで公開予定。この3月からは社団法人 全日本ピアノ指導者協会のホームページにて演奏会評「昨日のピアノ」を開始。翌日正午には前日の重要なコンサートの模様をご紹介するというこの試みは、早くも多方から話題を集めている。

<http://www.piano.or.jp/review/isa/>